

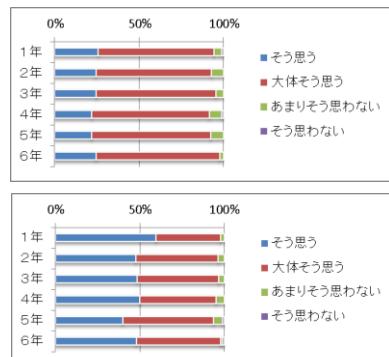
学校評価システム 「平成 27 年度 後期 自己評価の概要」

今回は、今年度の総まとめとして、学年別集計から課題分析を行いました。全体的な傾向として、子どもたちの成長している様子がうかがわれました。

★学校運営について★

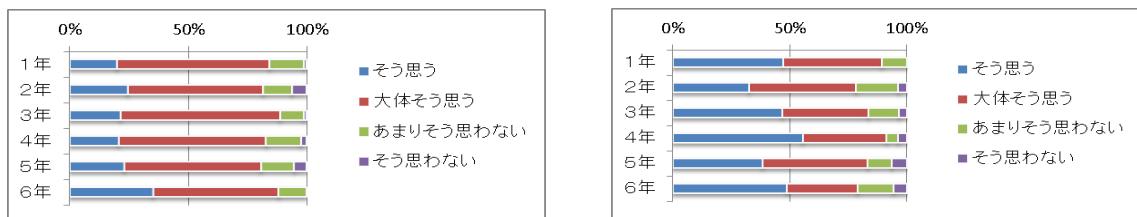
- ・学校からのお便りやホームページには、どの学年も肯定的な意見が大半で、情報公開やわかりやすい発信が増えたと考えます。いつも楽しみにご覧いただき、ありがとうございます。

- ・学校が楽しいという回答は児童・保護者とも9割を超えており、仲の良い居心地の良い学校風土になっていると考えます。さらに一人一人と丁寧に対話し、「楽しい」100%を目指します。



★確かな学力について★

- ・各種調査結果からは、どの学年も学力が順調に身についていることがわかります。今年度、宿題チェックカード等で家庭との連携を強化したことや、チャレンジタイムを2学年体制で指導したこと、学力向上に効果があったと考えます。今後も継続していくので、ご協力をお願いします。一方で、アンケートからは、学年により、わかったという実感にばらつきがあることがわかり(児童グラフ左、保護者グラフ右)，発達段階に合わせて丁寧に指導し、わかる喜びを味わわせることが大切だと協議しました。



- ・100 冊読書を達成した児童が、268 人(51%)います。引き続き読書習慣が身に付くための読書指導を継続します。

★その他★

- ・あいさつ(グラフ右)や安全な行動について、学年による差が見られました。指導を振り返り、学校教育目標や学校の重点に関わることについては、どの学年でもきちんと身に付けさせていくことを確認しました。

